



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成

発行日 / 2014年11月18日

2014-2015/18

Vol.36

No. 1718

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての誇りをもって』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くぱり」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

・石田 俊哉 様 (奈良RC)

会長の時間

先ず、今月はロータリー財団月間です。米山ともども、地区の目標をクリアできますように、ご協力宜しくお願い致します。それと、今日辺り解散風が吹いているようで、来週の今頃答えが出ているのではないかと思います。

ところで今月の「ロータリーの友」RID2690第8・9グループIM基調講演で、就実大学経営学部長の杉山慎策さんが「未来予測」というタイトルでお話をされ、そのことが掲載されております。この講師の方は私と同じ年代で、内容が気になりましたので、皆さんに少しだけお話させて頂きたいと思っております。

ロンドン・ビジネス・スクールのブラットン教授が、現在起きている大きな変化には5つの要因があると言っています。

- ①テクノロジーがすごく変化している
- ②グローバル化が進展している
- ③人口構成が変化して長寿化している
- ④個人・家族・社会の関係が変わる
- ⑤エネルギーと環境問題が深刻化する

そこで我々は将来への対応として、三つのシフトを考慮する必要があります。

I. 未来は延長線上にない。団塊の世代以降の人々は、安泰に暮らせるグループともものすごく苦しくなるグループに分かれる。

II. 同じ志をもつ仲間と一緒に共創する時代となり、ジェネラリストよりもスペシャリストになる必要がある。

III. 自分の好きなことを見つけてそれをやっていくワークライフバランスが大切である。

ということです。そして講演者の杉山氏は、今70才以上の方はラッキーな世代で、おそらくこのままの状態が維持できるかも知れない

例会プログラム

第19回11月18日

通算1718回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「月のさばく」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
山の辺の道「奈良道」を守る会 副会長・事務局長
藤本忠彦様
「山の辺の道の魅力」
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第18回 11月11日

通算1717回

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 2+25名
 ◎出席義務者数 51名
 ◎欠席者 8名
 ◎出席者 62名
 ◎出席率 88.57%

第16回 10月28日

通算1715回の修正

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 2+25名
 ◎出席義務者数 51名
 ◎欠席者 11名
 ◎補填者 1+11名
 ◎出席者 72名
 ◎出席率 100%

が、我々の世代以降から大きく変わりしっかり考えて生きていかなければ、孤独で貧困な時代が待っているという怖い言葉を話されています。またこれからは国家間の競争でなく、都市間競争になるだろう。そして国の繁栄も都市の繁栄もクリエイティブ・クラスがどれだけいるかによって決まり、ロータリアンはほとんどがクリエイティブ・クラブであるということです。詳しくは是非これを読んで頂きたいのですが、ロータリアンであることの価値と、将来を真剣に見つめる重要性を示唆した内容だと思えます。

委員会報告

青少年奉仕委員会：水野委員長

去る11月1日（土）立命館大学朱雀キャンパスにて新世代育成基金講演会に出席してまいりました。当日は中桐万里子さんという二宮金次郎の七代目の子孫の方に「つなごう明日の若者へ」というテーマでご講演頂きました。非常に勉強になりました。

国際奉仕委員会：佐川委員長

・先達での米山月間の寄付は、矢追さんのご協力もあり、たくさん頂き有難うございました。矢追さんから声をかけられ、嫌という人はたぶんおられなかったと拝察しております。

・11月8日京都タワーホテルに於いて地区のサンパウロ国際大会説明があり、行ってまいりました。期日は6月5日からですが、6月6日が開会式、7日が国際会議と言う事でございます。6月5日（金）に地区からたくさん行かれる場合に限り19：00～市内のホテルで夕食会を開催したいということです。奮ってご参加頂きたいと思えます。JTBや東日観光、近畿日本ツーリスト等いろんな会社からの案内を頂いてまいりました。また前の机にでも置いておきますので、ご覧頂いて、12月15日までに前期の申し込み締切ということで、その日までに申し込み頂くと\$50割引されるらしいです。ブラジルのことですから安くはありません。ガバナーも輩出しているということで、5人や10人では話になりませんので、是非ご参加頂きたいと思えます。

それと、小松ロータリークラブの八十山和代さんという方ですが、この方は洋画家でブラジルのサンパウロでお生まれになって現在日本で絵を描いておられます。時々ブラジルへ行かれると言う事で、その方からもお話があったのですが、ちょうど地球の反対側ですので、ブラジルはその頃秋の季節（ちょうど今頃の季節）だと思って頂ければ良いかと思えます。ただ、内陸部に入ると相当冷えるので行かれる方はそのような準備をされるようにお願いします。

これはリオにしろサンパウロにしろ、非常に治安は悪いです。テレビでご覧になった方もいるかと思えますが、夜は絶対外出禁止。それと、昼間でもネクタイを締めて歩くと言う事は正にカモがネギを背負って歩くようなものだそうで、どこかに引きずり込まれて帰って来られないこともある、と。それと向こうの若い女性は非常に魅力的で常にニコニコしてくれます。それは良いのですが、それについて行くとまた帰れない、ということもあるようで、ちょっと下心のある人は余程注意をして頂きたい。うちのクラブはそんな方はおられないと思えますが、赤信号でも車は停まってはいけない、と。停まると向かいから人が出てきて強盗に遭うということで、これまた帰れない。ということで、結構帰れない事が色々ありますが、そういうことをじゅうぶん注意して、行って頂きたい。大体2泊6日～4泊8日くらいです。八十山さんがおっしゃっていたのは、一回目は是非サンパウロだけでなくリオも見て頂きたいし、他も見て頂きたい。あの方がおっしゃるのは結構近畿ツーリストの企画がお勧めではないか、ということですが、これはあの方のお考えですが、そういうことで、12月15日までに是非ご参加をお願い致します。

・例会終了後に委員会を開催致しますので、よろしくお願い致します。

親睦活動委員会：中奥委員長

・明日県下ロータリークラブのゴルフコンペがございます。ご案内は先週状差しに入っていたかと思えますが、シプレカントリークラブでございます。かなり遠い場所ですので、早めに出て下さいますよう宜しくお願い致します。

・今週の土曜日にクラブの第2回目の親睦ゴルフコンペが行なわれます。本日状差しに入れさせて頂いております。ご参加頂きます皆様は、どうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

状差しに案内を入れましたが、今年度のガバナー公式訪問のスケジュールについて、補足説明いたします。公式訪問は、12月16日に行われますが、ただ、その日は、今年の最終例会で、友愛例会を予定しており、アルコールを用意しているため、例年であれば、例会終了後に実施するクラブ協議会を、その日に開催することは難しい状況です。地区と調整した結果、クラブ協議会については、北河原ガバナー、今西ガバナー補佐ご出席のもと、12月2日の例会終了後、行うことになりました。各委員長におかれましては、活動報告の発表をお願いするとともに、万が一、ご欠席の場合は、副委員長からの発表をお願いいたします。なお、協議会は、会員全

員の参加が望ましい、とあります。終了時間が遅くなりますが、是非、多くの会員のご出席をお願いいたします。12月16日の公式訪問では、例年通り、写真撮影を行い、例会ではガバナーアドレスを頂戴します。翌日のおん祭りを前に、奈良ホテルではかなりの混雑が予想されますので、SAAの指示に従っていただき、円滑に諸事が進みますよう、会員皆様のご協力をお願いいたします。

お詫びと訂正

2014年11月11日に発行致しました会報におきまして、誤りがありました。正しくは以下の通りです。

1ページ 本日お客さま
(誤) 石森淳一様 (生駒RC)
石森和江様 (石森純一様ご令室)

(正) 古森淳一様 (生駒RC)
古森和江様 (古森淳一様ご令室)

関係各位にご迷惑お掛けしましたことを、お詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

クラブ討論会 (ロータリー財団委員会担当)

地区財団補助金委員会 委員 中窪 啓司 様 (平城京RC所属)
「財団補助金について」



皆さんこんばんは。地区補助金委員で平城京RCの中窪と申します。過分なご紹介ありがとうございます。日頃はスポンサークラブとして親しくしていただいております。今日はガバナーのおられるクラブということで緊張しております。よろしく願いいたします。今日はお話のありました通り財団月間ということで財団に関するお話をと思って来たんですが、一部の会員様より国際大会について話してくれとのお話がありました。一応国際委員会にも所属しているからということでありますが、先ほど佐川委員長から大変面白くご紹介がありましたので、特にお話することもないのですが、あえて申し上げますと前回シドニーの国際大会では地区の夕食会がだいたい160名ぐらいでした。今度はサンパウロということで地球の反対側なのですが、だいたい50名ぐらい確保したいと考えていますので、是非ご参加よろしく願います。

国際大会の話はこれぐらいにしまして、あとは財団のお話をしたいと思えます。最初に財団の概略、つぎに補助金申請についてお話ししたいと思えます。今日は時間が厳しいので足りないところはお配りのレジュメをご覧くださいと思います。

まずロータリー財団の使命と標語ということで使命としては「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」とされており、標語としては、「世界でよいことをしよう」となっています。

います。地区の財団というのはかなり細かく分かれておりまして、1番上に地区のロータリー財団委員会がありまして、大塚委員長が委員長をされておられまして、その下にいくつかの委員会があります。まず財団資金推進委員会ですが、皆様からご寄附を集めるところ、次にポリオプラス委員会というところがあります。これはポリオについて皆様からご寄附を頂いたり、色々な教育、広報をする委員会です。私の所属する財団補助金委員会は頂いたご寄附を利用して奉仕活動を行い支援を行うところとなっています。また、地区財団資金管理委員会、これはかつては無かったんですが、皆さんから頂いたご寄附を適切に使っておられるか管理していく委員会となっています。あとこの委員会とは別に、またガバナー事務局とは別に特別に地区ロータリー財団事務局というのが設置されています。そこで財団に関する様々な事務手続きをして頂いています。このように少し細分化されているわけですが、ロータリー財団に頂いたご寄附の種類についてですが、まず「年次寄付」、これは使い道を定めずにご寄附いただくものでいわゆるポール・ハリスフェローですね。あと「恒久基金寄付」というのが、将来の新プログラムのためにその時は使わずに将来のために残しておく、その利息を活用していこうことでベネファクターですね。次に「使途指定寄付」、あらかじめ使途を指定して寄付をいただく、ポリオプラスなどがこれにあたります。いずれの寄付も一万ドルになるとメジャードナーということで表彰されます。また累計が25万ドル以上になった方についてはアーチ・クランフ・ソサエティという称号が与えられます。またポール・ハリス・ソサエティ、毎年1000ドルづつ寄付していただくものもあります。またこれは別の話になるのですが、ロータリー財団が公益法人になったことから寄付の所得税控除ができるようになっていきます。

続きましてシェアシステムによる寄付金の使用の流れについてです。恒久基金寄付の収益と年次寄付の全額が3年後に戻ってきてWF（国際財団活動資金）とDDF（地区活動資金）に50%づつに配分されます。WFはロータリー財団管理委員会が主にグローバル補助金に使用することを決定していく、DDFについては地区のほうで管理ができその50%以内について新地区補助金として使用する、残りについてはグローバル補助金として使用、残った場合は次年度のグローバル補助金に利用されるということになっています。

ロータリー財団のプログラムについてです。皆さんが日常興味があるのは「地区補助金プログラム」と「グローバル補助金プログラム」だと思います。「地区補助金プログラム」はDDFの50%以内を使って、地区の管理と裁量で奉仕活動に利用できるというものです。国内でも海外でも実施でき、補助額に下限はなく、またロータリーのある国でも、ない国でも可能となっています。

それに対して「グローバル補助金プログラム」は財団の定める6つの重点分野でのプロジェクトに活用する必要があります。またDDFと現金、WFを組み合わせることで使っていくことになっていて、DDFと組み合わせる場合はそれと同額、現金の拠出ならその半額がWFよりももらえるということになっています。補助額は15,000ドル以上20万ドル以下で事業総額が30,000ドル以上の事業になっています。あと、2カ国以上のクラブ、地区が参加する国際プロジェクトで、ロータリークラブが存在する国、地域でのみのプロジェクトで活用できるということになっています。それ以外にもロータリー平和フェロシッププログラム、ロータリー平和センターの学生さんに対する奨学金ですね。ポリオ・プラスプログラム、世界で子ども達にポリオ・ワクチンを投与して、ポリオ撲滅活動をするもの、またかなり大規模なものですがパッケージ・グラント、これは財団が立案し、協力組織と合同で長期的、大規模なプロジェクトに活用ということで、補助金の下限が50,000ドル、上限はないという感じになっています。以上が財団の概略についてです。

次に具体的な補助金の申請手続きについてご説明させていただきます。

地区補助金というのは現状として地区の資金としては25~26万ドル程度しかないのですがそれをかなり上回る申請が出ています。皆さんの地区補助金に対するご理解が高まって申請も多くなり皆さんに満額を交付できないような状況です。それに引き替えグローバル補助金については資金よりかなり下回った申請しか出ていないという状態なるべくグローバル補助金を活用していただきたいのが地区としての課題となっているところです。まず地区補助金の申請手続きについてお話しいたしますと、まずまず、クラブが参加資格の認定を受けることが必要でして、クラブ会長の覚書の署名、提出専用口座開設、資金管理整備ということをしていただき、これを毎年行う必要があります。2650地区では夏の地区財団セミナーと年明けのロータリー財団補助金管理セミナーに参加することを特有の参加資格としているので是非履行をして頂きたいと思います。申請期間については年度が始まる前の2月1日~5月15日となっております。審査期間に若干時間がかかることと、年度が始まってすぐに交付できるようにとするためものです。今度の会長さん、今からでも準備いただいて申請していただきたいと思います。5月に審査をして、最終的にはロータリー財団の承認を得て7月に交付ということになっています。補助金の限度額ですが前年度のクラブの1人当たりの年次寄付実績の30倍の額となっています。地区としては寄付について180ドルを推奨しているわけですが奈良大宮RCは大幅にクリアされ

ていまして昨年度は209ドルでした。今回地区補助金事業として7300ドルの申請をされて補助金として認められたと聞いています。奈良公園にベンチを設置される事業と聞いております。素晴らしい事業でほぼ全額が認められたのではないかと考えております。

奉仕事業内容ですが、グローバル補助金のような制限がなく基本的には自由ということになっています。先ほどもありましたがロータリーの無い国でも適用できますが、地域のニーズに応じた事業というのが望ましいとなっております、出来ることならば不特定多数の方が受益を受けられる、また事業に際して会員の参加が多いということも望ましいとされます。審査の際に気を付けていただきたいのですが、地区では審査基準というのがありまして優先される事業があります。一番評価されるのが障害者や弱者支援というものです。ほぼ100%認められるのではないかと考えます。あとは奨学金、災害復興、人道的プログラム、環境保全、新世代、公共的事業という順序で評価がだんだん下がってきます。奈良大宮RCさんの今回の申請は環境保全という分野になるのではないかと考えます。今後の申請には優先順位も考慮して企画していただければと思います。先ほども補助金の現状を申し上げましたが、かなり申請が増えておりまして今年度については62件、昨年度は82件で少し減っているのですがそれでも資金額を大幅に上回る申請となっております。地区の補助金というのは今年度でしたら261, 100ドルということで、これは2650地区の寄付額等によって定められているところでありまして。また事業終了後必ず一か月以内に報告をして頂かないといけません。これを怠られますと、次年度補助金の申請が認められないということになっておりますのは是非でよろしくお願ひします。

次にグローバル補助金についてお話しします。地区補助金と違い6つの重点分野、平和と紛争予防、紛争解決、疾病予防と治療、母子の健康、水と衛生設備、基礎的教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展といういずれも世界で切実な問題として、最後の「経済と地域社会の発展」も日本での地域と経済の発展ということではなくて、後進国の経済的発展ということを考えておりますので、なかなか日本国内でこの分野のグローバル補助金をやっていくのは難しいのかなと思いますので、やはりこちらは援助国、向こうは実施国ということで事業をやっていくのが望ましいと考えております。また先ほどもお話ししましたが、ロータリークラブのある国、地域でなければならぬということもあります。地区補助金と異なりまして申請時期に期限がなく、いつでも申請できます。DDFを活用して申請する場合は先に地区にDDF活用申請をしていただきますが、その後の本申請についてはロータリー財団に直接行うということになっています。グローバル補助金の要件については先ほども申し上げました6つの重点分野であること、持続可能性、一回きりで終わるのではなくてその後も継続的にその地域に効果がもたらされるということが必要です。あと、測定可能性、受益者が多く、またある程度ははっきりしているということも要件になっております。地域社会が主導的に参加されるということも必要ではないかと考えます。

申請手続きの流れですが、地区から参加資格の認定を受けるとというのが第一です。DDFを活用されるということでしたら、先に地区にDDF活用申請書をしていただきます。この承認が得られれば本申請ということでロータリー財団のほうに英文でオンラインで申請書を提出していただくということになります。最終的に審査がございましたら承認後、こちらの手持ち金とか現金を一旦ロータリー財団へ送り、その後ロータリー財団より補助金も含めて戻ってきますのでプロジェクトを実施していただいて、報告書を提出していただくこととなります。

グローバル補助金申請の現状ですが先ほども申し上げました通り申請が少ないということで毎年補助金が余っており残金をガバナーなどがポリオなど大きなものに寄付されているのが現状です。是非実際に事業を行って補助金を使っていたきたいというのがあります。申請が少ない理由としては恐らく英文でオンラインで申請といったことなどで面倒である、ということ、また6つの重点分野で具体的にどんなことをしたらいいのかわからないといったこともあるのではないかと考えております。財団補助金委員会のほうでも申請についてサポートさせていただきます。6つの重点分野については国際奉仕委員会のほうでWHOやJAICAなどつながりを持っておりますので紹介などもさせていただきます。日本にとっては英文で申請をするというところがネックになっていると思いますが財団奨学生の卒業生で学友会というのがありましてそこが申請について協力してくれることになっておりますので、是非利用して申請していただければと思います。

今日はまず寄付へのご協力と補助金を使った奉仕事業をどんどんやっていただきたいということです。あくまでも地区はサポートするだけです。奉仕の主体は各クラブの方たちですので、是非今後とも十分奉仕事業をやっていただきたいと思ひます。本日はどうもありがとうございました。



本日計 52,000円 累計 1,029,000円

中窪啓司 様 (地区財団補助金委員/平城京RC) 今日は拙い卓話にお付き合いよろしくお
 願い申し上げます。
 潮田悦男 君 中窪様、卓話御苦労さまです。皆様、先週はミリラニロータリークラブの歓
 迎に協力していただきありがとうございました。
 宮西正伸 君 本日は、中窪啓司様卓話有り難うございます。
 中嶋 大 君 奈良文化会館にて展示しておりました吉野間伐材アートベンチ本日撤去し、
 一階の元食堂に移動しました。アートベンチ御協力ありがとうございました。
 成田 積 君 結婚記念日に美しい胡蝶蘭をいただき有難うございました
 門脇伸幸 君 結婚記念にお花を頂きありがとうございました。
 梅谷裕規 君 先日、十一月二日、三十四回目の結婚記念日に、立派な胡蝶蘭をお送りいた
 だきありがとうございました。妻が感激して、その日の夕食だけ、少し豪華
 になりました。
 金星 昇 君 雨の中 ゴルフ ニコニコ 100たたき
 山本直明 君 ニコニコ協力
 武藤廣茂 君 ニコニコ協力
 中村信清 君 ニコニコ協力
 堀内眞治 君 ニコニコ協力
 市田富久夫 君 ニコニコ協力
 野末勝宏 君 ニコニコ協力
 河野里志 君 ニコニコ協力
 森山斗福 君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

11 月

■大和郡山ロータリークラブ■
 ・11月24日(月・振替休日)・・・定款第6条第1節(C)
 により、休会。

※ビジター受付：行いません。

■橿原ロータリークラブ■
 ・11月28日(金)・・・あすかロータリークラブとの合同例会
 の為、例会時間変更。

時間：18：00～

※ビジター受付：12：00-12：30まで橿原ロイヤルホテルフロント
 横にて行います。

12 月

■橿原ロータリークラブ■
 ・12月12日(金)・・・望年親睦家族会の為、
 例会時間・場所変更。

時間：18：00～

場所：ザ・リッツ・カールトン京都

※ビジター受付：行いません。

■大和郡山ロータリークラブ■
 ・12月29日(月)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
 ※ビジター受付：行いません。

次週の例会

平成26年11月25日(火)

卓話 航空自衛隊幹部候補生学校 校長 大浦 弘容 様
 演題 「我が国周辺の情勢と今後の防衛力整備について」